

法政大学大原社会問題研究所

所 報

(2001.8.1 ~ 8.31)

刊行物

『大原社会問題研究所雑誌』514号(2001年9月)

図書受入

	和 書	洋 書	計
購 入	35	12	47
受 贈	65	30	95
合 計	100	42	142

閲覧サービス

閲覧

開館日数	18日
閲覧人員	33名
貸出図書	40冊

コピーサービス

学外	32件	6792枚
学内	5件	104枚

日 誌

- 1日 来所：JR連合，松尾啓史企画部長，萩山市朗政策部長
- 7日 第62回私立大学図書館協会総会・研究大会（～8日，於：明治大学，若杉隆志出席）
- 29日 見学来所：中国社会科学院 李崇富教授他3名
見学来所：私立大学図書館協会レファレンス分科会15名

大原社会問題研究所利用のご案内

【利用できる方】

とくに制限はありません。社会・労働問題に関心のある方ならどなたでもご利用できます。

【開館時間】

平日 9時30分～16時30分 土曜 9時30分～12時

【休館日】

日曜，祝日，年末年始，大学の入学試験日，他に大学の事情により休館することもあります。その都度掲示，ホームページでお知らせします。

【複写】

1枚30円（法政大学教職員・学生は1枚10円）

*ていねいコピーは1枚50円

コンピュータからの所蔵データのプリント：10枚ごとに10円 *貴重書・劣化の激しい図書・製本新聞は複写できません。

【館外貸出し】

法政大学教職員・学生のみ可

専任教員：10冊 3か月以内

その他教職員・大学院生：5冊 3か月以内

学生：3冊 1週間以内

*戦前資料・原資料・事典類・新着雑誌・整理中の図書資料は貸出しいたしません。

*大学院生・学生は最初に利用登録していただきます。

【所蔵資料の出版物への利用】

1点につき3千円です。研究所長宛に内容を明記した「許可願い」を出してください。

*同一内容の場合は2点目以降は千円。

*使用したフィルムは研究所に寄贈してください。

*掲載図書には，当研究所所蔵である旨を明記し，1点を寄贈してください。

【展示会等への所蔵資料の特別貸出し】

目的・資料名を明記した「借用願い」を出してください。

【非来館サービス】

文献複写 上記料金+送料実費で行います。文書・Fax・メール等でお申し込みください。

図書の郵送貸出し 図書館・研究機関を対象に行います。冊数：3冊以内 期間：1か月以内

大原社会問題研究所雑誌 No.517(2001年12月号)

2001年12月25日発行

定価 1,000円(本体952円)，年間購読料12,000円

編集(兼)発行人 法政大学大原社会問題研究所

所長 早川征一郎

〒194-0298 東京都町田市相原町 4342

電話 042(783)2307

投稿募集

本誌は社会・労働問題に対する論文、調査報告を募集しております。下記の規定に基づいてご投稿下さい。

投稿規定

1. 投稿原稿は2部とし、ワープロ作成による未発表のものに限ります。
2. 原稿の分量は、原則として20,000字以内（図表を含む）とします。
3. 原稿には、審査に資するため、600字以内の要約を添付してください。
4. 原稿の採否は、本誌編集委員会が指定する審査員の査読を経て、本誌編集委員会が決定します。
5. 初めて投稿される方は、研究歴など簡単な履歴を添付してください。
6. 掲載原稿には、所定の原稿料をお支払いいたします。

【原稿送付先】

〒197-0298 東京都町田市相原4324

法政大学大原社会問題研究所

『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会

論文執筆要領

論文を執筆される場合には、下記の点に留意してください。

執筆者校正の際には、原則として原稿を返却しませんので、原稿のコピーを確保しておいて下さい。

原稿をプリントアウトする場合には、ある程度の行間を取って下さい。

1 一般的な原則

横書きとする。

タイトル、氏名の次に簡単な目次をつける。

原稿の最後に、執筆者名（ひらがな）、肩書き（所属、職名）を記入する。肩書きは大学の場合には、学部、研究所等の名称まで表記する。

注をつける場合には、各章ごとに分割せず、最後に一括し、通し番号をつける。

図、地図などは、可能な限りトレース済のものを提出する。

2 注記の方式

日本語の図書・論文の場合

A. 日本語で書かれた図書については、著者名、書名（書名は『 』で囲む）、出版社名、発行年（原則として西暦）の順に書く。ページ数を記入する場合には、発行年の次に記入する。

B. 著者が2人の場合には、両者の姓名を書く。3人以上の場合には、「 他」の方式も可とする。

C. 論文については、執筆者名、論文名（「 」で囲む）、掲載雑誌名（『 』で囲む）、巻号、発行年月日の順に書く。

D. 注の最後は、かならず「。」で止める。

欧文の図書・論文の場合

A. 欧文の図書については、著者名、書名、発行地（あるいは出版社名）、出版年を書く。書名は、イタリックにするので、下線を引くなどして書名の部分を他の部分と区別する。

B. 論文の掲載雑誌名は、イタリックとする。

C. 再出を示す「ibid.」「op. cit.」などもイタリックにする。

D. 注の最後は、かならず「。」で止める。

以上